

子宮頸がん征圧をめざす
専門家会議

Annual Report 2012

CONTENTS

2012年度 総括	1
2012年度 活動一覧	2
国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供	3
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供	8
若年女性への啓発・情報提供	9
シンポジウムなどによる一般市民への情報提供	11
メディア掲載	12

2012年度 総括

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下当会議)は2008年11月設立以来、検診とワクチンの普及を目標に掲げ活動を展開している。

【目標】 *2012年度より変更

1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、検診受診率50%以上をめざします。
2. HPVワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのワクチン接種を推進します。

2009年はHPV予防ワクチンの正式承認を獲得し、2010年は検診受診率向上、ワクチン公費負担の実現に向けて、他の啓発団体と連携しながら政府への提言を活発におこなった。

ワクチンの公費負担が実現した2011年は、ワクチンについての理解を深めていただくため、セミナーやウェブ、広告などを通して、議員、自治体保健担当者、医療関係者や健康指導者、保護者向けの正しい情報提供につとめた。また、継続審議になっている子宮頸がん予防法案の実現に向けての提言や、企業との連携キャンペーンにも注力した。予防活動奨励賞も創設し、募集を行った。

2012年は、予防活動奨励賞の表彰の実施、要望書による提言活動、5回目の自治体アンケート、自治体・議員向けセミナーにより成功事例を広める活動を展開。一般公募ポスターによる若い女性への啓発、養護教諭を通じた保護者へのよびかけ、医療者と啓発団体との交流の機会となる日本版WACCの初開催のほか、啓発資材や情報を活用しやすくするためホームページをリニューアルした。併用検診の医療経済についての検討も開始した。

当会の認知が高まり、メディアからの取材や問い合わせが増えた。社会を動かす大きな力になってきている。

【子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 概念図】

【対象】

- ・政府
- ・自治体
- ・保険者
- ・医療者
- ・一般

★幅広く情報提供

【活動】

- 専門家の団体である強みを生かした最新の正しい情報提供
- ・調査・研究・発表
 - ・セミナー・シンポジウム・勉強会
 - ・ウェブサイト・携帯サイト
 - ・スライド・DVDなど資材提供
 - ・海外研修 ・キャンペーン

★専門家の思いをわかりやすく伝える

【委員・実行委員・監事・顧問】

- ・産婦人科医
- ・小児科医
- ・助産師
- ・看護師
- ・細胞検査士
- ・養護教諭
- ・医療経済学者
- ・患者団体・啓発団体

★役員は子宮頸がん予防の
専門家

【目標】

1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、検診受診率50%以上をめざす。
2. HPVワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのワクチン接種を推進する。

★専門家の思いと知識により、
女性の健康と幸せを作り出す

【協力団体】

- ・子宮頸がんを考える市民の会
- ・女子大生リボンムーブメント
- ・らんきゅう
- ・卵巣がん体験者の会スマイリー
- ・子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会
- ・市民のためのがん治療の会

★主な啓発団体と連携

【専門家の所属する団体】

- ・日本医学会
- ・日本医師会
- ・日本産科婦人科学会
- ・日本産婦人科医会
- ・日本小児科学会
- ・日本小児科医会
- ・婦人科腫瘍学会
- ・日本看護協会
- ・日本細胞診断学推進協会
- ・全国養護教諭連絡協議会
- ・日本学校保健会
- ・日本対がん協会
- ・ティールアンドホワイトリボンプロジェクト
- ・キャンサーネットジャパン

★関連学会・医師会等と連携

2012年度 活動一覽

2月28日	第1回子宮頸がん予防活動奨励賞 表彰式	子宮頸がん予防で成果をあげる活動を行った団体・個人に対しての賞を創設。特別審査員のアグネス・チャンさんをお迎えして表彰式を開催、■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:宇田川康博、鈴木光明、委員:岡本喜代子、小西宏
3月～	横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトタイアップキャンペーン	地域との共同活動として、横浜中心のプロジェクトとタイアップ。ポスター・メッセージを集め、最優秀作品からポスターを作成し啓発に活用。■委員:宮城悦子、中山裕樹、上坊敏子
3月2日	子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン講習会	子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーンの一環で、首都大学荒川キャンパスで講習会実施。■活動委員・・・実行委員長:今野良、木村千里(社団法人日本助産師会)
4月9日	“子宮頸がんを予防する日”記者会見	4月9日“子宮頸がんを予防する日”に、関係団体が共同で記者会見、共同メッセージを発表した。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明
4月・5月	幼稚園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」	全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児からお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。4万枚を配布。雑誌「からだにいいこと」に挟み込みも行った。
5月14日	小宮山洋子厚生労働大臣へ、3団体から要望書を提出・面談	小宮山洋子厚生労働大臣へ、公益社団法人日本産婦人科医会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、公益財団法人日本対がん協会の3団体からの要望書提出と面談が、急遽実現した。■活動委員・・・実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明
5月31日	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 木村博承課長宛の要望書提出	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 木村博承課長宛に、検診についての要望書を提出。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、委員:小西宏
6～7月	第5回 自治体アンケート調査	23年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種状況についての自治体アンケート調査を実施した。過去4回の調査報告書も配布している。■活動委員・・・実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明
6月・7月	世界規模の国際学会で当会議の活動を報告	2008年設立からの活動報告と最近の日本における子宮頸がん予防ワクチンの承認、地方自治体および政府による暫定的公費負担接種のはじまり、そして、定期接種への決定までのプロセスを世界規模の国際学会で相次いで報告。■活動委員・・・実行委員長:今野良
7月8日～12日	EUROGIN2011 & 2011 WACC Forum 参加・取材ツアー	一昨年、昨年に続き、EUROGINとWACCのフォーラム(プラハで開催)に、公募で選ばれた子宮頸がん啓発団体、メディア、細胞検査士とともに参加。当会議の活動も発表した。■活動協力・・・実行委員長:今野良、委員:Sharon Hanley、小西宏、宮城悦子
7月18日	インターナショナルセミナー	HPVテストを用いる子宮頸がん検診のエビデンス、世界の状況、細胞診との併用検診の実際などの最新情報を紹介し、日本におけるHPV検診の推進についてディスカッションをするため、インターナショナルセミナーを開催。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、委員:岩成治、小西宏
8月23日	「EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum」報告会	7月プラハで開催された世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACCのフォーラムに参加し、帰国後に報告会を開催。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、委員:Sharon Hanley、宮城悦子、小西宏
8月・11月・12月	自治体・議員向けセミナー「子宮頸がん予防対策、成功事例に学ぶ」	「細胞診・HPV併用検診」の詳細とメリットを説明するとともに、HPVワクチン接種の高接種率など各地の成功事例を参考にしてもらうため、自治体担当者、議員などを対象に各地でセミナーを実施した。■活動委員・・・実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、委員:岩成治
9月6日	「HPV検査導入」の疑問解決のための記者会見 & 「ワクチン9月末までの第一回接種周知のお願い」発信	厚生労働省第2回がん検診のあり方に関する検討会でHPV検査の導入が検討された。これを受けて緊急記者会見を実施し、HPV検査導入の意味をお伝えするとともに、ワクチンの9月末までの第一回接種周知をお願いする5団体のメッセージを発信。■活動委員・・・実行委員長:今野良
9月30日	ピンクリボンウオーク® in すみだで「女性のためのヘルスケアトーク」開催	乳がん啓発のための「ピンクリボン ウォーク in すみだ」に参加。トークショーと出展をおこなった。■活動委員・・・委員:江夏亜希子、福田護
9月	9月末までのワクチン第1回接種を周知するための養護教諭への働きかけ	ワクチン本年度公費助成対象者へ9月末までの第一回接種周知のため、全国の養護教諭にメールを配信。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、委員:堀田美枝子
10月	子宮頸がん、MRワクチン接種を周知するための養護教諭への働きかけ	全国の中学・高校の養護教諭宛に、「NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会(理事長 園部友良)」と共同でDMを送付。子宮頸がん予防ワクチンと麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)接種を促進。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、委員:堀田美枝子
10月	ウェブサイトのリニューアル	ウェブサイトをよりわかりやすく、啓発資材を活用しやすくするため、デザインをリニューアル。
10月19日	子宮頸がん予防のためのプロフェッショナルワークショップ	子宮頸がんの予防と治療、さらには、今後の日本のワクチンの展望などについて、国内外の専門家による講演とワークショップを開催。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、野々山恵章、委員:岩成治、岡田賢司、寺本勝寛、堀田美枝子
10月20日	[WACC in Japan; Women Against Cervical Cancer in Japan ランチオンワークショップ]	「第21回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会」において、初めての試みとして、WACC in Japanと題した医療者と啓発団体との交流の機会が作られた。■活動委員・・・実行委員長:今野良、委員:河村裕美、小西宏、Sharon Hanley、平井康夫、宮城悦子
11月	第2回子宮頸がん予防活動奨励賞の実施	昨年に続き『第2回子宮頸がん予防活動奨励賞』を募集。■活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:全員
通年	医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供	子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に、講演などに提供している。■活動委員・・・実行委員長:今野良
通年	プレスへの情報提供	■活動委員 多数
継続中	併用検診の医療経済についての検討	■活動委員・・・実行委員長:今野良

国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供

検診受診率向上、ワクチン接種促進に向けて、行政、議員、健康指導者、メディアに向けての情報提供を活発に実施。

1. 提言

“子宮頸がんを予防する日”記者会見

4月9日“子宮頸がんを予防する日”に、関係団体が共同で記者会見を実施。子宮頸がんによって日本女性の命と幸せが奪われないように、あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践することをめざして、共同メッセージを発表した。メディア関係者など約50名が参加した。



- 日時：2012年4月9日(月)16:30～17:00
- 場所：厚生労働省記者クラブ
- 活動委員…議長：野田起一郎、実行委員長：今野良、実行委員：鈴木光明

小宮山洋子厚生労働大臣に、3団体から要望書を提出・面談

小宮山洋子厚生労働大臣へ、公益社団法人日本産婦人科医会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、公益財団法人日本対がん協会の3団体からの要望書提出と面談が、急遽実現した。



- 日時：2012年5月14日(月)午前
- 場所：厚生労働省 大臣室
- 活動委員…実行委員長：今野良、実行委員：鈴木光明

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 木村博承課長宛の要望書提出と面談

小宮山厚生労働大臣との面談を受けて担当部局との話し合いを持つこととなり、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 木村博承課長宛に、当会議議長の野田起一郎、公益社団法人日本産婦人科医会常務理事 鈴木光明(当会議実行委員)が、それぞれの団体を代表し、子宮頸がん検診についての要望書を提出した。

- 日時：2012年5月31日(木)17:30～18:20
- 場所：厚生労働省 健康局がん対策・健康増進課
- 活動委員…議長：野田起一郎、実行委員長：今野良、実行委員：鈴木光明、委員：小西宏

「子宮頸がん検診公聴会－HPV検査導入」の疑問解決のための記者会見&「ワクチン本年度公費助成対象者への9月末までの第一回接種周知のお願い」発信

9月3日に開催された、厚生労働省 第2回がん検診のあり方に関する検討会(子宮頸がん検診について)において、HPV検査の導入が検討された。これを受けて緊急記者会見を実施し、約20名のメディアの方々にHPV検査導入の意味をお伝えするとともに、ワクチンの9月末までの第一回接種周知をお願いする5団体のメッセージを発信、メディアへ協力を依頼した。



- 日時：2012年9月6日(木) 15:00～16:00
- 場所：厚生労働省9階 記者クラブ
- 活動委員…実行委員長：今野良

2. 調査

第5回 自治体アンケート調査

23年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種状況についての自治体アンケート調査を実施した。
過去4回の調査報告書の配布も実施している。

- 調査時期: 2012年6～7月
- 調査対象: 全国1738自治体
- 回収状況: 有効回収数 1354 自治体(回収率 77.9%)
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明



3. セミナー、啓発

第1回子宮頸がん予防活動奨励賞 表彰式

子宮頸がん予防に取り組み、成果をあげた団体・個人を表彰、その成功のポイントを広く公開し、今後の啓発活動に活用してもらうため、『第1回子宮頸がん予防活動奨励賞』を創設。2011年11月より募集を開始。14件の応募の中から、奨励賞7件、グッドパートナーシップ賞1件、メディアパートナー賞1件、審査員特別賞2件を決定。特別審査員のアグネス・チャンさんをお迎えして表彰式を開催、受賞団体やメディアなど約50名が参加した。

- 日時: 2012年2月28日(火) 14:00～15:30
- 会場: 東海大学 校友会館
- 活動委員・・・議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、実行委員: 宇田川康博、鈴木光明、委員: 岡本喜代子、小西 宏



EUROGIN 2012 & 2012 WACC Forum 参加・取材ツアー

子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、世界のさまざまな啓発へのアイデアなどに触れ、今後の日本での啓発活動に活かすため、一昨年・昨年に引き続き、世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACC(Women Against Cervical Cancer)のフォーラムに、公募で選ばれた子宮頸がん啓発団体、メディア、細胞検査士とともに参加。当会議の活動も発表した。

- 日時: 2012年7月8日(日)～12日(木)
- 会場: プラハ
- 活動協力・・・実行委員長: 今野 良(企画・事前説明会・現地コーディネート)
委員: Sharon Hanley、小西 宏、宮城 悦子



世界規模の国際学会で当会議の活動を報告

2008年設立からの活動報告と最近の日本における子宮頸がん予防ワクチンの承認、地方自治体および政府による暫定的公費負担接種のはじまり、そして、定期接種への決定までのプロセスを世界規模の国際学会で相次いで報告。日本の経験をシェアすることで世界にも貢献できた。HPVが子宮頸がんの原因であることを突き止めた2008年ノーベル医学・生理学賞受賞者のzur Hausen博士にも直接報告を行い、お祝いの言葉をいただいた。



<発表学会>

- 2012年6月14日 10th International conference of the Asian clinical oncology society, Satellite symposium, Seoul, Korea
- 7月10日 EUROGIN 2012, Scientific session, Prague, Czech Republic
- 7月14日 AOGIN 2012, Plenary session, Hong Kong
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良



インターナショナルセミナー: 日本のための精度の高い検診とは何か? ～細胞診+HPVテスト併用検診の最新情報～

HPVテストを用いる子宮頸がん検診のエビデンス、世界の状況、細胞診との併用検診の実際などの最新情報を、この領域の世界的リーダーJack Cuzick先生(英国)などより紹介し、日本におけるHPV検診の推進についてディスカッションをするため、インターナショナルセミナーを開催。厚生労働省担当者、国会議員、地方議員、メディア、自治体の検診担当者、健康保険組合担当者、産婦人科医、子宮頸がん予防啓発団体の方々など、100名以上が参加した。



- 日時: 2012年7月18日(水) 17:00～19:50
- 会場: 東京ステーションコンファレンス602
- 活動委員・・・議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明、委員: 岩成 治、小西 宏



「子宮頸がん予防: 海外と日本の最新動向」～「EUROGIN 2012 & 2012 WACC Forum」報告

7月プラハで開催された世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACCのフォーラムに参加し、帰国後に報告会を開催。厚生労働省、自治体、議員、医療関係者、啓発団体、メディアなど、約80人が参加した。

- 日時: 2012年8月23日(木) 14:30～16:30
- 会場: 千代田区立日比谷図書文化館 小ホール
- 活動委員・・・議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、委員: Sharon Hanley、宮城悦子、小西 宏



子宮頸がん予防のためのプロフェッショナルワークショップ

最近の子宮頸がん予防の領域には、「HPVワクチンの公費助成」と「がん検診における新しい方法の導入」など、めざましい進歩と変化が見られ、従来の知識や考え方とは大きく異なる点も出てきた。そこで、子宮頸がんの予防と治療、さらには、今後の日本のワクチンの展望などについて、国内外の専門家による講演とワークショップを開催。厚生労働省、自治体保健担当者、議員、メディアなど約50名が参加し、熱心に聞き入っていた。

- 日時: 2012年10月19日(金) 11:00~16:30
- 会場: イノホール&カンファレンスセンター
- 活動委員…議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野良、実行委員: 鈴木 光明、野々山恵章
委員: 岩成 治、岡田賢司、寺本勝寛、堀田美枝子



第21回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会「HPVワクチン時代の子宮頸がん検診」

[WACC in Japan; Women Against Cervical Cancer in Japan ランチョンワークショップ]

当会議実行委員長の今野良が会長を務める「第21回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会」において、初めての試みとして、WACC in Japanと題した医療者と啓発団体との交流の機会が作られた。約2時間10分にわたるランチョンワークショップには、産婦人科医や細胞検査士など、日本の婦人科がん検診に関わる専門家や、啓発団体、議員、メディアなど約240人が参加した。

- 日時: 2012年10月20日(土) 11:20~13:30
- 会場: イノホール&カンファレンスセンター
- 共催: 株式会社ホロジックジャパン、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議
- 協力: 子宮頸がん予防啓発連絡会議、株式会社明治
- 活動委員…実行委員長: 今野良、委員: 河村裕美、小西 宏、Sharon Hanley、平井康夫、宮城悦子



第2回子宮頸がん予防活動奨励賞の実施

子宮頸がん予防に取り組み、成果をあげた団体・個人を表彰、その成功のポイントを広く公開し、今後の啓発活動に活用してもらうため、昨年に続き『第2回子宮頸がん予防活動奨励賞』を募集。

- 募集締め切り: 2012年11月末、表彰: 2013年2月予定
- 活動委員…議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野良、実行委員全員

子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン

企業・学校に勤務・在籍する若年女性(主に10代後半～30代)を対象に、企業・学校等とのタイアップのもと、子宮頸がん予防に対する顕在・潜在的なバリアを取り除き、検診(HPV-DNA併用)とワクチン接種推進活動を推進する。

■活動:2011年9月サイトオープン

首都大学荒川キャンパス 講習会実施

サノフィアベンティス 社員啓発事業および併用検診導入お手伝い

十企業へ併用検診導入の紹介

健保連:2013年に向けて講習会実施協議中

■活動委員・・・プロジェクトリーダー／実行委員:鈴木光明、

プロジェクトメンバー／実行委員長:今野良、

実行委員:今村定臣、吉川裕之、委員:小田瑞恵、宮城悦子

井伊久美子(公益社団法人日本看護協会)、木村千里(公益社団法人日本助産師会)

自治体・議員向けセミナー「子宮頸がん予防対策、成功事例に学ぶ」

■目的:子宮頸がんの征圧

- ・精度の高い検診(HPV-DNA併用検診)の導入推進
- ・公的助成対象ワクチン接種の接種率向上

■全国自治体、子宮頸がん検診担当職員、地方議員(県議、区議、町議)

■活動内容

1、実態アンケート実施

- *有効回収数 1354自治体(有効回収率 77.9%)
- ・全国自治体検診担当者あてに以下を調査し、課題が明確となる。
 - ワクチン
 - ・ワクチン接種率と、行政の具体策による接種率差異
 - 検診
 - ・年代ごとの検診受診率、クーポン利用率におよぼす行政の具体的方策
 - ・HPV併用検診導入に向けた状況と課題

2、講演会実施

-講演内容

- ①なぜ?子宮頸がん対策が他のがん対策より優先されるのか?
- ②併用検診の意義と理解促進
 - ・精度の高い検診の意義と実際
 - ・導入による自治体の負担(費用・手間の削減)
- ③ワクチン接種率向上への成功例

3、開催後の併用検診推進にむけた行政・議員へのフォロー

- 勉強会開催自治体の保健福祉担当職員を訪問しフォロー中
- ・12/12甲府でフォローの勉強会を実施するなど、自治体の実情に応じたフォローを実施。

■活動委員・・・プロジェクトリーダー／実行委員長:今野良、

プロジェクトメンバー／実行委員:鈴木光明、委員:岩成治

実施エリアと演者、参加者数

県	日	講演	参加者
千葉県	8月3日(金)	岩成 治 島根県・有藤氏	73
山梨県	8月21日(火)	今野 良	27
埼玉県	8月28日(火)	今野 良	66
福岡県	8月29日(水)	鈴木光明	30
鹿児島県	8月30日(木)	鈴木光明	22
高知県	8月30日(木)	今野 良	10
長野県	11月2日(金)	今野 良 東御市・小林氏	43
香川県	11月16日(金)	今野 良	35
兵庫県	11月19日(月)	岩成 治 島根県・有藤氏	67
愛知県	11月20日(火)	鈴木光明	80



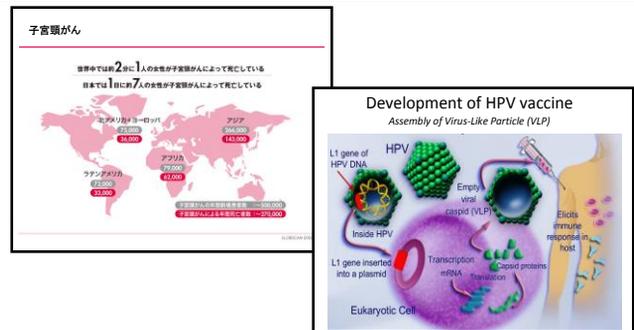
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供

子宮頸がんに関する最新情報の提供をサイトで行い、データをダウンロードし活用できるようにしている。

医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供

子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらう。月に数件の申込がある。

■監修協力・・・実行委員長：今野 良、委員：平井康夫



ウェブサイトでの情報提供～わかりやすくリニューアル

ウェブサイトでは、医療者や行政の保健福祉担当者などに向けて実施した子宮頸がんに関するエキスパートによるセミナーの動画配信など、専門家への最新情報の提供を行う。実行委員・委員が講師を務める子宮頸がん予防に関するセミナーなどの開催情報も提供。

2012年は、よりわかりやすく、啓発資材などを活用しやすくなるよう、サイトデザインをリニューアルし、内容を一層充実させた。

■10月リニューアル



一般女性向けウェブサイト「子宮頸がん講座」での情報提供

一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」を携帯とウェブで展開している。



若年女性への啓発・情報提供

団体、若年女性を顧客とする企業などとタイアップし、若い女性に向けて検診とワクチン接種を啓発している。

横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトタイアップキャンペーン

宮城委員が中心となって実施している「横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクト」とタイアップし、横浜・神奈川の検診率アップ、及びワクチン接種率を高める活動を行っている。検診受診やワクチン接種を啓発するポスターとメッセージを募集。全国からポスター63作品、メッセージ117作品が寄せられ、最優秀賞受賞作品から啓発ポスター各部門1点を作成し、3月1日からの「女性の健康週間」にあわせて掲出するとともに、各地で啓発ポスターとして活用していただいている。また、「横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトサポーターズ」が今年度より発足。横浜市を中心として神奈川県内でポスター・リーフレット設置等の誘致活動やイベントでの啓発、インターネット・SNSを活用したPR活動を継続して実施。サイトでは、検診・ワクチン接種を受けた方が提携店でサービスが受けられる共通クーポンを発行している。

- ポスター募集: 2011年11月～2012年1月、掲示: 3月～、サポーターズサイト開設: 8月～
- 活動委員…委員: 宮城悦子、中山裕樹、上坊敏子



幼稚園・保育園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」

2010年・11年に引き続き、全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児から大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。園で配布したほか、雑誌「からだにいいこと」に挟み込みも行った。

- 4月・5月
- カード/イラスト: 藤本四郎



シンポジウムなどによる一般市民への情報提供

一般市民の啓発のために、専門情報をわかりやすく解説する公開講座などを他団体と連携して開催。また、さまざまなイベントなどに講師を派遣。

ピンクリボンウオーク® in すみだで「女性のためのヘルスケアトーク」開催

昨年より始まり、今年で2回目を迎える乳がん啓発イベント「ピンクリボンウオークinすみだ～東京スカイツリーを目指そう～」に当会議が協力、トークショーやブース出展を行った。

当日、台風17号の影響でウオークは中止となったが、ステージイベントは開催され、ゲストの海老名香葉子さん、当会議委員の江夏亜希子（四季レディースクリニック院長）をまじえたトークショー「女性のためのヘルスケアトーク」では、乳がんだけではなく子宮頸がんについても早期発見・検診の大切さをより深く訴えた。

- 日時:9月30日(日) 11:30～16:00
- 会場:錦糸公園(東京都墨田区)
- 活動委員…委員:江夏亜希子、福田 護

